

時事新聞定價	
時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物 價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し	
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一百五十錢○六箇月前金三 箇月○一箇年前金六箇月○月曜休刊	
○時事新報社ヨリ直接ニ郵送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ 遞送料ヲ中附シ	
時事新報廣告料(前金)	
一行五錢半字廿四字估	一日以上
一 行 二 付	六 日迄
一 行 二 付 十三 錢	七日以上
十一 錢	一日以上
十 錢五 錢	一日以上
本社へ寄稿に付	
東京府下を始め各府縣に通信社なるものわりて是より 各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を 製するより各社同一の記事を掲ぐるふと寡からず獨 り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社 に通信を依頼せすと雖も世間往々此事を知らずして通 信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信 うされば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に 本社に向け發送あらんとを請ふ	

時事新報

卷之三

陸軍の特別大演習は本月廿三、四、五の三日間を以て宇都宮附近に施行さるもと爲り天皇陛下にも親から統監あらせらるゝ爲め來る廿一日に同地へ御發輦ある可しと云ふ今回の演習は一昨年名古屋附近に於て施行せられたるものと同じく第一第二の兩師團に近衛師團を加へて兵數凡そ三萬以上なる其上に陛下親から統監あらせらるゝもと爲め來る廿一日に同地へ御發輦ある可しと云ふ今回の演習は一昨年名古屋附近に於て施行せられたるものと同じく第一第二の兩師團に近衛師團を加へて兵數凡そ三萬以上なる其上に陛下親から統監を以て大兵の運用上に得る所のもの少なからざる可し我輩の人に望と屬する所なり抑も近來我國戰術の進歩は非常のものにして海外諸國の嘆賞する所なれども三萬以上の大兵を運用して實地に作戦の計畫を試たるは一年の大演習にして大に進歩の實を表したものなり今回の演習はますく其實を加るとならん聞く所に據れば明治十四年龜山の演習には十六萬圓を費し十八年九州の演習には十五萬圓を費したるに一昨年の大演習は前兩回に比し兵數は三倍強、日數は二倍にして然かも兵員を發送する地方の距離は遠隔なるにも拘はらず費用は十二萬圓に過ぎず而して今回の費用も亦八萬圓となりと云ふ其費用の多少は即ち進歩の一として見る可きものなれども我輩は此一事を以て特に鐵道の效能に歸せざるを得ず抑も日本の鐵道は最初より専ら商賈輸送産上の便利を目的としたるものにて軍事の點に就てけり少の遺算なきに非ざれども其效用の斯く著るしきと見れば今後意を用ひて軍事の目的に適合せしむる所と爲さば軍事上の便利は云々までもなく一國の經濟より鐵道を利用して所在に小機動演習を行ひつゝ次第に宇都宮もしくは白川附近に集中し其期日至れば雙方共に總て一大軍團を組成するの計畫にして此十數日間の小演習に鐵道利用の爲めに得る所の經驗は決して小ならざる可しと云ふ又大演習中にも鐵道の便利を以て大軍團を組成するの計畫にして此十數日間の小演習には三萬以上の大兵を一日或は二日の間に運送するの計畫にして鐵道利用の最も大なるものなりと云ふ右は軍事上に於ける鐵道の效能なれども茲に尙ほ

卷之三

卷之三

陸軍の特別大演習は本月廿三、四、五の三日間を以て宇都宮附近に施行するもどり爲り天皇陛下にも親から統監あらせらるゝ爲め来る廿一日に同地へ御發輦ある可しと云ふ今回の演習は一昨年名古屋附近に於て施行せられたるものと同じく第一第二の兩師團に近衛師團を加へて兵數凡そ三萬以上なる其上に陛下親から統監あらせらるゝもとなれば軍容の偉觀を極めて士氣の奮厲常に倍す可きは申す迄もなく殊に前年の經驗に徴して大兵の運用上に得る所のもの少なからざる可し我費の大に望を屬する所なり抑も近年來我國戰術の進歩是非常のものにして海外諸國の嘆賞する所なれども三萬以上の大兵を運用して實地に作戦の計畫を試たるは一昨年の大演習にして大に進歩の實を表したものなり今回の演習はますく其實を加るとならん聞く所に據れば明治十四年龜山の演習には十六萬圓を費し十八年九州の演習には十五萬圓を費したるに一昨年の大演習は前兩回に比し兵數は三倍強、日數は二倍にして然かも兵員を發送する地方の距離は遠隔なるにも拘はらず費用は十二萬圓に過ぎず而して今回の費用も亦八萬圓なりと云ふ其費用の多少は即ち進歩の一として見る可きものなれども我輩は此一事を以て特に鐵道の效能にて鐵道は最初より専ら商賈貿易の爲めに建設されども軍事上の便利を目的としたものにて軍事の點に就て何等の違異なきに非ざれども其效用の斯く著るしきを踏せざるを得ず抑も日本の鐵道は最初より専ら商賈貿易の爲めに建設されたるに由りて軍事上の便利は云々でもなく一國の經濟上にも非常の利益を見るに至る所じ例へば今回の演習に於ける鐵道の利用は勿論であるが、鐵道の運送能力は軍事上の大いに發揮されるものであつた。

官報

意す可きは豫備兵集散の一事なり豫備兵の招集には自
から一定の期日あれども若しも鐵道の便利なきときは
其招集の命に應じて指定の場所に着する日數と又解散
の命を得て演習地より銘々の郷里に歸るの日數とは中
少なからずして其日數は空しく消費す可きものなる
に鐵道の爲めに其日數を減少し公に在りては無益の費
を省き私に在りては自家の業務を空ぶするの不便を免
れ公私の經濟上に少なからざる利益を與へたるは是れ
又鐵道利用の效能に外ならず之を要するに今軍隊が
從前に比し僅々の日數の間に幾多の戰術と經驗するみ
とを得て然かも幾倍の兵數を擧げ遠隔の地方に集散し
而して其費用の減少を見たるは兵士の熟練、規律の整
頓等種々の原因もある可しと雖も我輩は重もに鐵道の
效用に歸せざるを得ず即ち今回演習の一事に就ても軍
事上に經濟上に鐵道計畫の一日も急にせざる可らざる
を知る可きなり

我 们 因

西日本一の本店である大日本製鐵株式会社は、明治三十一年に創立され、現在は世界有数の大企業として成長しています。本社は東京にあります。

章を出したるが其文意に云く英國々會の撰舉に就て最も伊太利人の心を感じしむるのは候補者の仕事の異常に多きみど是なり我伊太利の如き數百年の間、隸屬の境界に在りたるが爲めに柔弱の氣風の行はる國柄に於ては國會(下院と云ふ)議員の職は候補者の爲めに殊更に疲勞を感じずして占めらるゝの常なり伊太利の國會は五百八人の議員(下院と云ふ上院は王族の成年者と四十歳以上の勅授議員とより組織して千八百九十年の初には議員の總數三百三十五人ありたり)より組織し居るみるとなるが少くとも其五分の四是有力なる諸友人に己れの事を吹聴したる手紙を贈りて之が保護者としたる者なり又彼の手紙を贈られたる友人達は單に友誼の譯を以て重なる撰舉人となりたるまでのみるとなり蓋し我下院議員の中には己れを撰舉し呉れたる撰舉區の名稱さへ知らずして議員となりたる者も少からずある又撰舉人の前に於て曾て口を開きたるみどもなければ時的重要なる問題に就て更に意見を陳べたるみどもな

政黨者流の大臣も其邊へば來月の經費豫算等下なる中川如きは行政縣會が此の事は曩に廳處縣會は今中央ど認をすの可否を到底縣會のきは今の時回断然其をも昨年同せし議案案學校の經費子弟の教育

爲に犠牲^{ささぎ}性^{せい}に供すべきもの
の處置^{しよ}に就き知事^{ちじ}にも通^{つう}
縣會には最早其位置^{しゆぢよ}の諸^よ
々^ごを提出するのみならん而^が
道熊谷町なりといふ全體^{ぜんたい}に屬^{する}し
其官^{くわん}の職權^{しょくせん}内に屬^{する}るふ
撰定權^{せんていせん}を有するものにあり
屬下浦和町に中學校新設^{しんせつ}され
主^{しゆ}之^を否決^{ひけつ}せしに依り更^{さらに}
じべき中山道熊谷町を以て
と縣會に諮詢^{しゆそく}せしに是亦否決^{ひけつ}
多數^{たすう}が異口同音^{いっこどうおん}に是認^{にん}す
其位置^{しゆぢよ}を熊谷町と決定^{けい定}しか
向縣下民黨^{みんとう}の意氣込^{こも}にては
目^めに熱心^{ねつじん}なるものは窃^かに事